

# 行雲流水

No.34 令和3年4月29日発行

## 自分の未来を創る

校長 寒河江 正人

朝の校内に響く「**明るいいいさつ**」の声。  
まもなく、4月が終わろうとしています。

**新入生の諸君。**初めての中学校生活、少しは落ち着きましたか？  
最初からアクセル全開では、先が続きません。疲れたなら、休憩をとりながらでいい。  
自分なりに、少しずつ少しずつ「ペースをつかむ」、それでよいのです。

**2年生の諸君。**下級生から「先輩」と呼ばれるようになりました。  
今、どんな毎日を過ごしているのでしょうか。  
君たちには、1年生の時とは違う、どんな学校生活の景色が見えているのでしょうか。  
「中学校生活の本番」は、いよいよこれからです。  
心と身体が落ち着いてきた今、着実な成長・飛躍を期待しています。

**3年生の諸君。**出会った4月6日には、まだ2年生の姿の余韻が感じられました。  
この1ヶ月、最上級生となり、生徒総会を終えた頃には、3年生の姿に見えてきました。  
「人は、立場・役割を与えられて成長するものだ。」と言われます。  
生徒総会を終えた後、「おつかれさん。ごろうさん。」と声をかけた時、  
「ありがとうございます。おつかれさまでした。」と謙虚にあいさつ返せる生徒会役員の姿。  
生徒会長の藤原康太くんに「最後まで通して自分たちの手でやり通せたね。おつかれさん。」  
と声をかけた時、「ありがとうございました。」と笑顔で言えたその姿を目の当たりにして、  
「本校の若者たちが育っているなあ。」と実感し、うれしくなりました。  
これから卒業まで、君たち3年生の成長・飛躍の可能性は「無限大」。  
ぐんぐん伸びゆくことを大いに期待しています。

始業式の式辞で述べたとおり、「もう過去は、振り返らない。」  
「過去の事実は、変えられないが、未来の事実は、変えられる可能性がある。」  
「自分の未来を創る」のは、生徒諸君一人ひとりの「意識と行動」に懸かっている。

**あせらず、たゆまず、おこたらず。一步一步、一日一日を積み上げてゆく。**  
私たち、本校の教職員は、そういう君たちを「黒子（くろこ）」として支えています。